

地理院地図パートナーネットワーク会議 ～地理空間情報活用のオープンイノベーションを目指して～

国土地理院 地理空間情報部 情報普及課
小島 脩平



Geospatial Information Authority of Japan

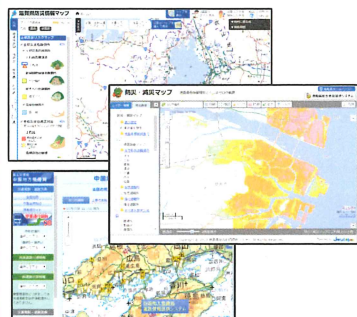
1

地理院地図パートナーネットワーク

2

地理院タイルの活用を持つ外部技術者（受託開発者、ツール提供者）を
パートナーとし、**地理空間情報活用のオープンイノベーション**
を目指す情報共有・意見交換の場

地理院タイルを活用した
受託開発



受託
開発者

100者

ツール
提供者

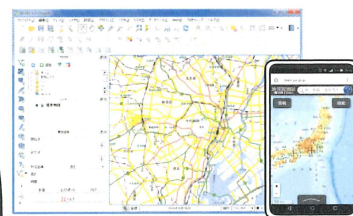
69者

(H30.11.19現在)



地理院地図パートナーネットワーク会議の様子

地理院タイルを活用した
ツール開発



具体的な活用をカタログ化した
「地理院地図パートナーリスト」

発注者・
エンドユーザ

国土地理院

地理院タイルの提供

サイトURL : <https://maps.gsi.go.jp/pn/>
→パートナーリスト、過去の会議資料等を掲載



ウェブブラウザ
で見られる地図

インストール
不要

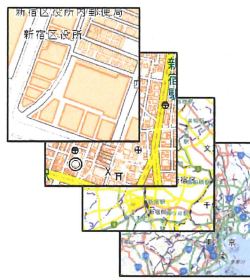


国土地理院の地理空間情報の提供

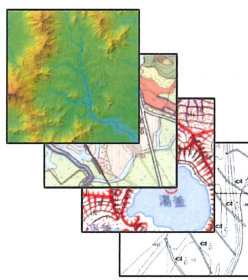
国の基盤となる地理空間情報の整備



空中写真



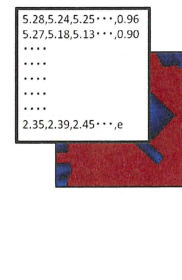
地形図



主題図



災害情報



標高

測量法に基づく提供 → **誰でもアクセス可能**な形で

地理空間情報活用推進基本法に基づく活用推進 → **活用しやすい**形で

政府のオープンデータ戦略 → **官民協働の推進、行政の効率化等につながる**形で



ウェブによる提供 **ウェブ地図**

地理院地図のデータ
「地理院タイル」を使って
それぞれのニーズに応じた活用を！

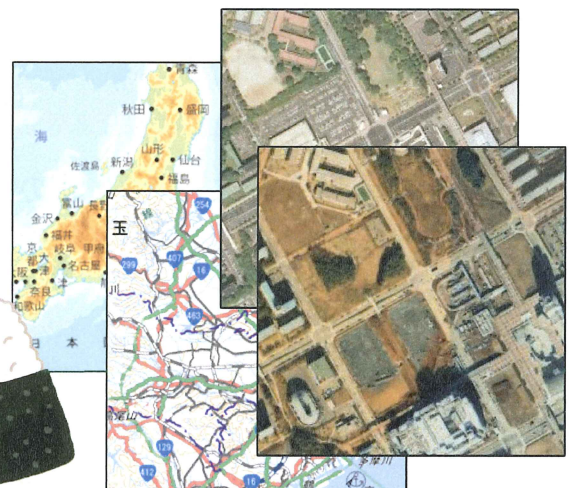
地理院はデータ屋→「地理院タイル」を使って欲しい

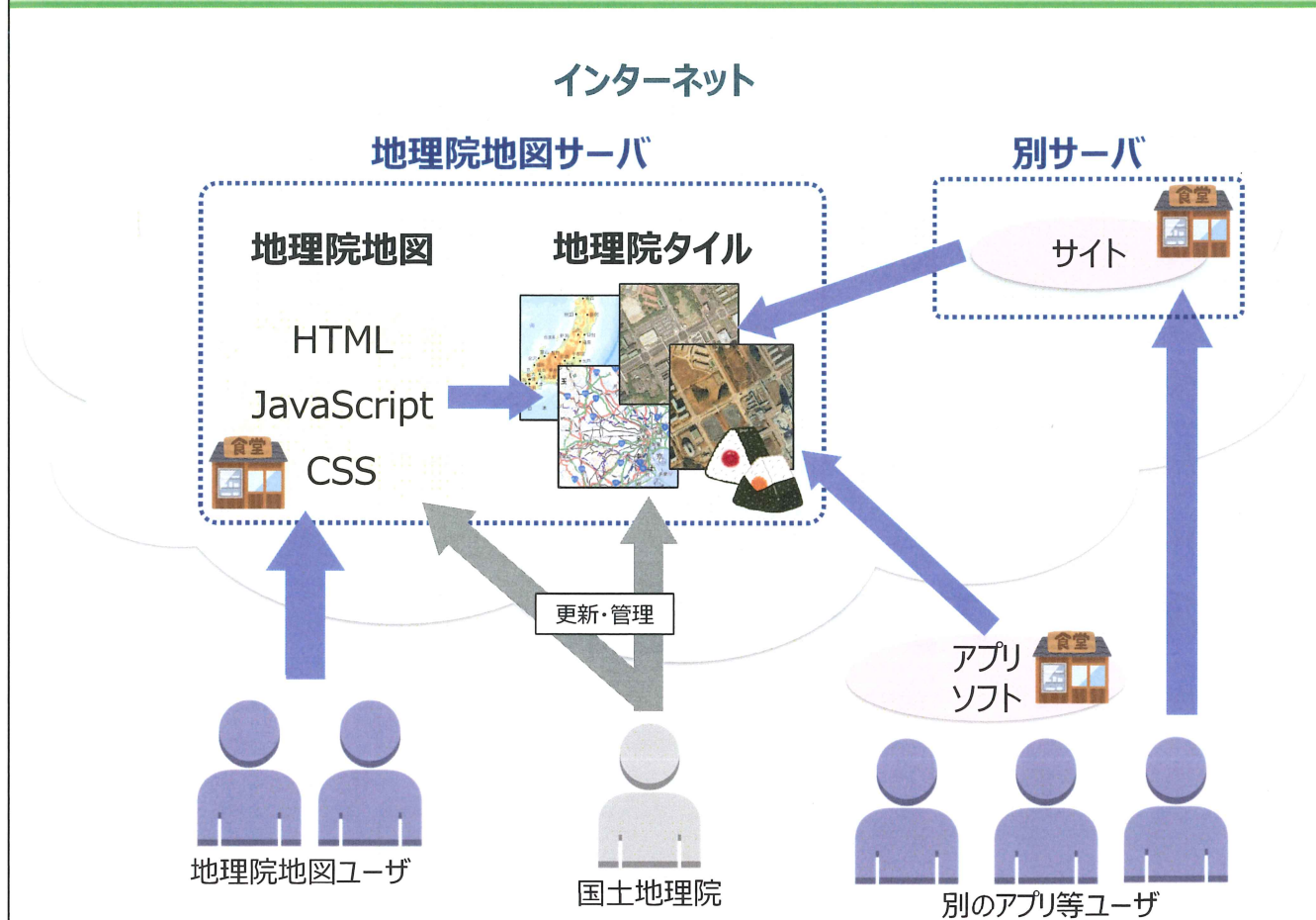
地理院タイル



ウェブ地図用
データ

データを
使って
もらいたい





3つのオープン施策

①オープンデータ施策

政府のオープンデータ戦略に基づき、データを使いやすく提供

- 「政府標準利用規約（第2.0版）」に基づく「国土地理院コンテンツ利用規約」
- ファイル形式は、ウェブ地図で一般的な形式を採用（仕様もウェブで公開）

②オープンソース施策

ウェブ地図をオープンソースとして公開し、データの活用を推進

- オープンソースを活用して地理院タイルのショーケース「地理院地図」を開発
- 「地理院地図」のソースを、オープンソースとして「GitHub（※）」で公開

③オープンイノベーション施策

産学官連携を積極活用し、イノベティブな成果を追求

- 地理院地図パートナーネットワーク

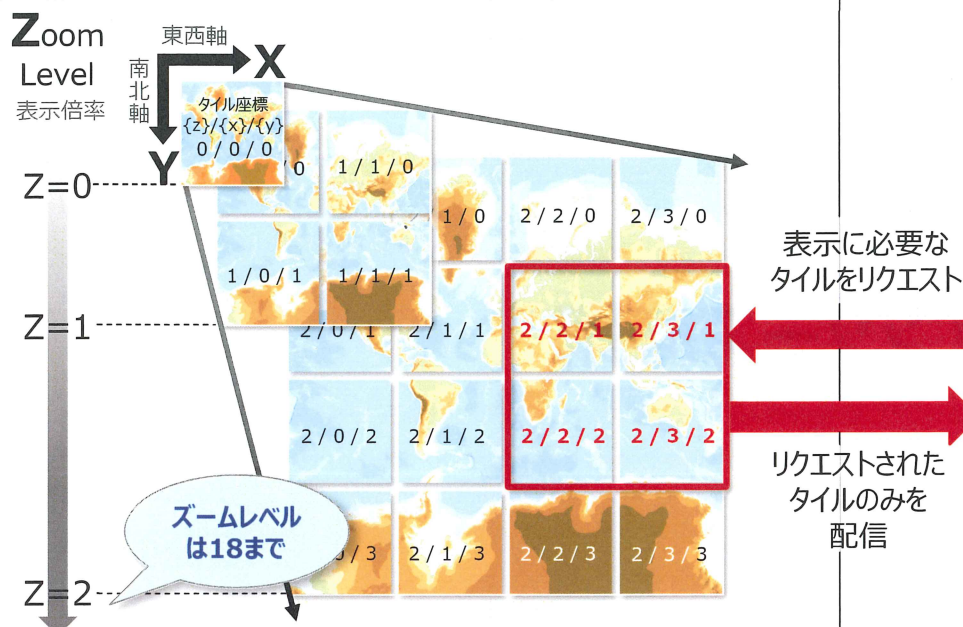
※GitHub：数多くのオープンソースプロジェクトや企業が技術情報を公開している技術者向けのSNS

サーバ

地理院タイルのデータ形式は**XYZ形式**

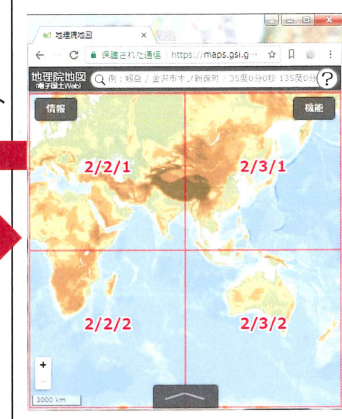
→ 多くのウェブ地図APIやスマホアプリ、GISソフトが対応している
地図データとして一般的な形式

https://maps.gsi.go.jp/{t}/{z}/{x}/{y}.{拡張子}
{t}:タイルID、{z}:ズームレベル、{x}:X座標、{y}:Y座標



クライアント

画面に表示するとき
必要な地図画像だけ
ダウンロードする
→ 表示が高速に行える！



一般的な形式を採用することのメリット

地理院地図サーバ



「地理院タイル」をウェブ
地図として動かすため
のプログラム

「地理院タイル」のための
特別な勉強不要

一般的な形式だと利用できる
“オープンソース”ソフトウェアがたくさん

■ 地理院地図でも利用



<https://leafletjs.com/>



<https://cesiumjs.org/>

Google Maps, Yahoo!地図ほか
ほとんどのウェブ地図が「タイル」